

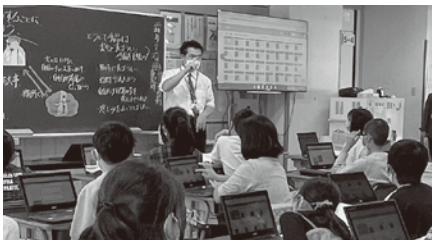
子育て・教育環境の充実

次に、「子育て・教育などの充実」に関わる取組について申し上げます。

子育て世代の支援に向けた取組につきましては、子どもたちの安全確保のため、ひかわ保育園及びせざき保育園の耐震補強工事を実施するとともに、にしまち保育園の耐震補強設計を実施してまいります。

また、瀬崎児童クラブにつきましては、新たに小学校敷地内に専用施設を建設するため、実施設計を進めてまいります。

学力向上に関する取組につきましては、引き続き本市独自の学力・学習状況調査の結果を分析・活用するとともに、GIGAスクール構想に基づき配備されたタブレット端末等のICTを効果的に活用し、日々の授業改善を進めてまいります。また、放課後学習等を実施し、学習機会の充実を図ってまいります。



タブレット端末を使用した授業の様子

平和に関する学習の取組につきましては、広島で実際に被爆を体験された市内在住の方などを講師に迎え、被爆体験をもとにした講話や演劇を実施し、平和や命の尊さについての理解を深めてまいります。



市内全中学校での平和公演会の様子

重点テーマ③

コミュニティ力の向上

重点テーマの三つ目は、「コミュニティ力の向上」です。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域のイベントや会合が中止となるなど、地域コミュニティの活動を停止せざるを得ない状況に陥りました。まちの活力の維持には、地域コミュニティの活性化とともに、そこに暮らす方々の活力の向上も欠かせません。まちづくりを推進するための最大の資源である「人」の力、一人ひとりの市民の力をまちづくりに生かしていくことが必要となります。

まちづくりの主役である市民の皆様、草加の誇る市民力を最大限に発揮

していただき、多様化する地域の課題を地域自らが主体となって解決する地域コミュニティの醸成を図るとともに、地域の皆様の活動を支援し、市民と一体となり地域の課題解決に取り組むことで、魅力あるまちづくりを進めてまいります。

市民協働によるまちづくり

はじめに、「市民協働によるまちづくり」に関わる取組について申し上げます。

まちの将来像の実現につきましては、市内10のコミュニティブロックごとの行動計画となる「コミュニティプラン」を市民、町会・自治会、市民団体、民間事業者の皆様と協働で策定し、引き続き具体的なまちづくりの実施、実現に取り組んでまいります。



地区別懇談会の様子

谷塚駅西口のまちづくりにつきましては、引き続き整備区域、整備手法等の検討を行い、駅周辺の利便性や防災機能の向上、さらには市南部の核となる良好な住環境づくりに向け、まちづくりを推進してまいります。

市民活動・支え合い

次に、「市民活動・支え合い」に関わる取組について申し上げます。

町会・自治会の活動拠点である町会会館等につきましては、施設改修やエアコンの設置などにかかる費用の補助を引き続き行ってまいります。

また、松原児童青少年交流センターにつきましては、児童館の機能に加え、青少年の活動の場・多世代交流の場・音楽活動の場などの複合機能を有する施設として、令和4年10月に供用開始するため、引き続き建設工事を行ってまいります。



松原児童青少年交流センター整備イメージ図

生涯学習に関する取組につきましては、多くの人々が生きがいをもって暮らせるように、地域を支える人材の育成を通じて、学びの成果を生かせる人づくり、まちづくりを行ってまいります。

以上が令和4年度における主要な事業でございます。

また、現在の第四次草加市総合振興計画は、平成28年度の策定から、本年度7年目を迎えます。

これまでの成果や課題などを踏まえ、本年は、令和6年度から始まる第三期基本計画の策定に向け、次の4年間における施策の目標や方向性の検討などの準備を進めてまいります。

併せて、施策評価市民アンケートなどにより把握をした各施策への評価を、第三期基本計画の実施にあたり生かしていくとともに、基本計画の目標を確実に達成するために、進行管理サイクルの確立に向けた取組を進めてまいります。

おむすびに

先般開催された北京2022オリンピック競技大会では、多くの日本人選手が活躍し、最後まで決して諦めない姿勢や日ごろから地道に努力を重ねることの大切さを教えてくれました。

また、昨年開催された東京2020パラリンピック競技大会では、本市出身の高橋和樹選手と、アシスタントの峠田佑志郎選手が、ボッチャ混合ペアにおいて見事銀メダルを獲得し、多くの人々に、希望と勇気をあたえてくれました。

高橋選手はリオデジャネイロパラリンピックにおいて予選で敗退したのち、世界を目指してより競技に専念できる環境に身を置きました。

そして峠田選手も、勤めていた特別支援学校を退職され、競技のみならず、高橋選手の生活の介助も担うなどして、アシスタントに専念する道を選ばれました。

高橋選手、峠田選手の両選手が、世界を目指し、未来に向け、思い切って、変化ある行動を実行したことが、大会での銀メダルの獲得という素晴らしい偉業達成につながったのです。



高橋選手・峠田選手に市民栄誉賞特別賞授与

令和4年度の市政運営にあたりましては、コロナ禍という難局を乗り越え、希望にあふれる未来を築くため、お二人のように、失敗を恐れず、変化ある行動を実行していくことで、魅力あるまちづくりにつなげていきたいと考え

ております。

また、社会が大きな変革を迎えるこの時期を、様々な行政課題を克服する絶好の機会と捉え、積極的に行動を起こしてまいります。

平成30年10月、わがまち草加を良くしたいという、強い想いを胸に市長に就任して以来、4年目を迎えることとなり、いよいよ、現在の任期の総決算の時を迎えました。

これまでの間、公約である「わがまち」草加づくりの7つの戦略の実現に向け、全力で市政運営に邁進してまいりました。

就任直後の平成30年11月には、これまでの多くの先人の皆様のお力に支えられ、市制60周年を迎える中で、記念式典を開催し、未来に目を向け、本市の目指す都市像「快適都市-草加-」を創っていききたいとの想いを伝えさせていただきました。

また、元号が変わった令和元年10月には大型の台風第19号が上陸、本市では初となる避難情報の発令や多数の避難所開設など、様々な対策を行いました。同時に、多くの課題も明らかになりました。

そこで、それらの課題解決に向け、避難所開設の判断基準の明確化や市内の全小中学校の屋内運動場へのエアコン設置などの方針決定を迅速に進めてまいりました。

また、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症への対応に邁進してまいりました。各種コロナ対応への対策につきましては、地方創生臨時交付金や新型コロナウイルス感染症緊急対策基金などを活用する中で、数多くの事業を様々な分野において実施し、市民の皆様と生活を守るため、職員とともに全力で取組を行ってまいりました。

現在もなお、解決すべき課題は残されておりますが、これまで多くの市民の皆様、そして市議会の皆様のご理解とご協力を賜る中で、市政の発展に向け、様々な取組を実現できたことに、深く感謝を申し上げます。

今後も市民の皆様、事業者の皆様のお力添えをいただきながら、さらには、職員一丸となって、草加の総力により、行動を起こすことで、「やさしさがあふれるまち 草加」「快適都市-草加-」の実現を目指してまいります。

最後になりますが、本市の発展のため、市民の皆様、議会の皆様の、より一層のご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。令和4年度の市政に臨む所信といたします。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

草加市長

浅井 昌志

